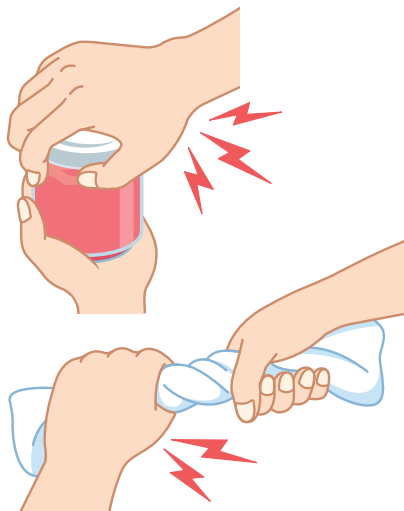


母指CM関節症の症状

親指に力を必要とする動作で痛みが出る



手指の変形性関節症の一つ「母指CM関節症」について、たいら手の外科・整形外科の平良貴志先生に聞きました。

「リンのふたを開ける、雑巾を絞るなど、親指に力を必要とする動作で痛みが出て来院する人が多い。母指CM関節症は、親指の付け根の関節（CM関節）が緩み、関節軟骨がすり減ったり、亜脱臼（関節が外れかけた状態）を起すことで痛みを起す。」

「症状が出てから早め治療法は？」

「一症状が出てから早め治療法は、関節変形の進行予防を目的とした内服薬やリハビリ、器具、ステロイド注射などの治療法の選択肢があります。」

「関節の変形が進行して手の機能が損なわれた場合や前述の治療で症状が改善しない場合は手術を行います。」

「手術は、変形した骨を一部切除し、靭帯を再建する関節形成術を行います。関節を固定する手術とは異なり、母指の動きが制限されないのですね。家事などで指を動かす機会が多い人に適しています。指が動きづらくなる不安から手術をためらっている人も、あきらめずに相談を。」

院長・平良貴志
日本整形外科学会認定
整形外科専門医

☎042-587-5530

日野市石田2-9-17
多摩モノレール「万願寺」駅
下車徒歩3分



休診日:金・日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	/	●	/
14:00~17:30	●	●	●	●	/	●	/